

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・駐車場施設の整備	・駐車場得エリアの造成工事完了	【H34成果目標】 年間来場者数 延べ2万人 【今後のスケジュール】 ・用地取得と物件補償（～H31年） ・施設整備（～H33年）	【H34成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	②	とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」の実現を目的とする。	とみぐすく祭りの開催	・ハーリー大会参加チーム数 63チーム ・来場者数：77,000人	【今後のスケジュール】 地域資源を活用した祭りを継続的に開催し、来場者数及び県外観光客の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽樹の管理(1387樹、3回除草清掃) ②プランターの植栽管理(464個)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ H31	新たな公共交通システムの導入を目指し、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用促進をするため、昨年度の検討、整理を行った実施施策に基づいて、市内一周バスのルート検証を行う。	市内一周バスのルート変更に向けた調査、手続き、広報作業	市役所移転後の市内一周線のルート変更前の利用状況の把握	【H32成果目標】 市内一周バス再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート及び実態調査で検証する。 【今後のスケジュール】 変更ルートに関する評価、検証を行い、鉄軌道を含めた新たな公共交通システムの導入に向けた課題整理を行う。	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケート及び実態調査により検証する。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ H33	市民や観光客等に市産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、とみぐすく産業フェスタへの支援を行う。	とみぐすく産業フェスタ開催に係る経費を負担する。	とみぐすく産業フェスタ来場者数 34,000人	【今後のスケジュール】 企画・イベント等の見直しを図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	②	優良母牛導入支援事業	H27 ～ H31	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛と価格差割合「110%以上」	【今後のスケジュール】 優良母牛導入頭数 H30: 16頭(4年目導入率65%) H31: 16頭(5年目導入率83%) H32: 16頭(6年目導入率100%)	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H28 ～ H33	公立幼稚園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	臨床心理士配置数: 2人	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士の負担感・不安感の軽減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	心理相談事業	H28 ～ H33	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	臨床心理士配置数: 1人 乳幼児健診 24回 親子教室 10回 心理相談(面談) 35回	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が育児に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H30	市立幼稚園において特別支援教育支援員が対象児の実態に応じ、個別または複数配置で支援を行う。	特別支援教育支援員の配置 幼稚園: 18人	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成31年度から公立幼稚園6施設が公私連携幼保連携型認定こども園(民間運営へ移行)、1施設が公立認定こども園に移行するため、平成31年度からは公立1施設への正規職員の集約により市単独で事業を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の学校生活や学習上の困難に対する支援により改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置:26人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】平成33年度まで継続的に配置し、十分な教育を受けることができるように配慮する。	【H30成果目標設定の考え方】保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	学力向上サポート事業	H24 ～ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校:+2.3ポイント ・中学校:+2.2ポイント	【今後のスケジュール】継続的に配置し、平成33年度の県平均正答率との差を小学校+2.6ポイント、中学校+2.5ポイントを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
4	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率32%	【今後のスケジュール】平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
4	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ H33	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置数:中学校3人、適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人)	不登校児童生徒復帰率20%以上	【今後のスケジュール】継続的に各種支援員を配置し、平成33年度の学校復帰率30%を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小中学校へ外国人英語講師を巡回配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:4名 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+3.5ポイント	【今後のスケジュール】継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、平成33年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+3.8ポイントを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】[小学生]対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 [中学生]過去の実績を勘案して設定した。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	⑥	情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	パソコン教室の授業へ情報教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートすることで児童生徒の情報活用能力の向上を図る。	情報教育補助員配置数:2人	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:65%以上	【今後のスケジュール】 継続的に情報教育補助員を配置し、平成33年度のICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合80%以上を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 H30年度～H33年度:各年度14名 合計56名	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したいと考えられる値として設定した。
4	⑩	お仕事体験事業	H30	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効率のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、就業意識が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		計画 期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業 番号	事業名		H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
								パ
4	①	電子黒板整備事業	H25 ～ H33	わかりやすい授業を実施し学校教育の質の確保を図るため、電子黒板を整備する。	電子黒板の整備7台	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(75%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 教室数増となった普通教室等に電子黒板を整備し、全教室への整備を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	①	龕(饒波)修復事業	H27 ～ H31	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「龕」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。	龕の修復作業	龕の修復作業の完了	【H31成果目標】 「龕」本体の修復完了後の企画展示会の来場者数:600人 【今後のスケジュール】 H31 企画展開催等の活用	【H31成果目標設定の考え方】 類似の企画展の実績を参考に設定した。
5	②	組踊継承事業	H29 ～ H30	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	組踊「雪払」上演 1回	組踊出演者数 23名 上演来場者数 646名	【今後のスケジュール】 H31 上演台本制作	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	③	戦争体験等映像化事業	H29 ～ H30	沖縄戦終結から72年が経過し、体験者が自ら語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖縄戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。	戦争体験者等基礎調査 証言撮影10名分 証言編集 ダイジェスト版の製作	証言映像30名分の完成 学習材の整備完了	【H31成果目標】 整備した学習材を活用した企画展示会の来場者数:600人 【今後のスケジュール】 H31 市内学校へ配布 より広範囲での公開方法の検討	【H31成果目標設定の考え方】 類似の講座等の実績を参考に設定した。
6	①	豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行う。	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施及び備品整備	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	【H31成果目標】 合宿誘致件数:5件 【今後のスケジュール】 合宿誘致件数:5件(H32) 利用者数等:30,000人(H32)	【H31成果目標設定の考え方】 類似施設の合宿誘致件数実績を参考に設定した。